

【これからの時代「貯徳」できる人が
富を得ていく！】

この前中国上海にいて書いた記事で好評だった記事を PDF に
しました

PDF【大投資家の竹田和平氏から学ぶ
「貯徳(ちよとく)」の精神について！！】

<http://fxgod.net/pdf/money/tyotoku.pdf>



【これからの時代「貯徳」できる人が富を得ていく！】
⇒編集後記で



どうもゆうです！

おはようございます！！

それで面白いのが世の中稼げるノウハウというものは

沢山持ってるのにそこで稼げる人と稼げない人と分かれるわけですね。

これは何でだろう？？と私はよく考えるわけですが

実はそこで重要なのが日本のバフェットと言われる資産家
竹田和平さんの言う「貯徳」概念だと思います。

今日はそれを再度昨日 PDF にまとめたので復習して、
考えて、あなたと切磋琢磨しつつ
一緒に学んでいきます！

編集後記で！

=====編集後記=====

さてさて、私は昨日は日曜日だったので

ゆっくりしておりました。飯くって温泉入って運動して

そんで塾の動画とか改めて勉強して見直しておりました。

それで改めて思ったのが「徳」ってのが大事だなってことですね。

株でもFXでもネットビジネスでもやはり感じるのは

長く稼いでる人たちって「徳」がある人が結構いると思うのですね。

それで以前にメルマガで書いてかなり好評だったのが

「貯徳」という概念なんだけど

「徳」を蓄積して行って、それが結果としては

資産構築に長期的に結びついて行ってそれが社会の

良い循環を促す、という新しい資本主義の考え方です。

というか実は私は資本主義とは何か？というのを色々学んでるけど

実はこの「徳」という概念が重要になってくるんですね。

お金を稼ぐとかそのあたりの考え方ってのが

マネーゲームの行きすぎで(前期資本主義がマネーゲーム)

とても悪いイメージを持ってるわけですが本来、そうではないわけです。

ここで日本のバフェットと言われる投資家竹田和平さんの
言葉がとても大事なんですね。

氏がなんで日本で200億円以上の資産を築けたか??

というのはやはり貯徳概念にあるんだ、ってことでして

これは多くの金持ちにも共通してるな、と

私は昨日セミナー見て思っていました。

それでこの「貯徳」の考え方については以前に

メルマガで扱ったのだけど

見ていない人もいるだろうからまた別のPDFにしてみましたので

良かったら見てみてください！



この前中国上海にいて書いた記事で好評だった記事をPDFに
しました

PDF【大投資家の竹田和平氏から学ぶ
「貯徳(ちよとく)」の精神について!!】
<http://fxgod.net/pdf/money/tyotoku.pdf>



それでこのPDFに書いている点で重要な点ですが

抜粋です。

(上記 PDF より抜粋)

=====

んで、この竹田和平さんですが、株で数百億円作った人なんですが

彼がよく言うのが

「徳を貯金する体質にしろ」

ってことなんですね。

彼は「貯徳」というのですが

竹田和平さんは戦後食べるものに飢えてお金にも飢えた時代を

経験しているんですが、そこで人にも好かれる素直な体質

それがお金に好かれる体質なんだ、って気づいたそうです。

だからいわゆる「徳」ですよ。

これがお金に好かれる体質なんだと。

だから徳を貯蓄しろ、というのが彼の言ってることで

私は彼の資産というよりはこの言葉に結構共感を得て

「日本にもすごい人いるよな～」ということで

尊敬しているわけです。

それで全ての分野において

(変革期があつて)導入期

、成長期

成熟期

衰退・変革

があるわけですが今の日本に関してはおそらく

衰退および変革、の時代でしょう。

現在の先進国不況ってのは結構すごいものがあるわけですが

それは私は今上海でこのメルマガ書いているけど

外から見て、それを感じるわけです。

上海の街とか前に写真見せましたがすごいんです、ほんと。

一方先進国なんかはもう東京ですら最近少し

ライトが照らされていなくて暗くなってきていますよね。

それでこの不況を招いた大きな原因が前に書いた

金融資本主義ってのがあると思うわけです。

私もFXとかやってるから人のこと言えないんだけど

ただやっぱり金融一辺倒の資本主義ってのがこの大きな不況を生むことになったってのは誰も疑わないところだと思います。

ちなみに前の号に書いたのだけどこういう金融資本主義とかあとはそれに結びついて中東なんかで戦争して軍産系列が儲ける資本主義のことを「前期資本主義」って言うんですね。

この前期資本主義、実は資本主義とは全く違うものでして似てるけど全然違うものなんです。

多くの人々がそこに最近気づきだしていてなんか金融資本主義はおかしいってのは分かってきているわけですが

ここでやはり人類に価値観の変革ってのが起こるのだってのが日本の大投資家である、竹田さんの言葉です。

人々は過剰な金融資本主義からいずれ脱却して、そして「徳」が金を生む、という新しい時代に入っていくのだというのがこの竹田さんの言葉なんですね。

この竹田さんは200億円前後稼いだ投資家であるだけではなくて竹田製菓っていうお店の社長さんでもあるのですが

彼はやはり「徳」を意識して、業績もすごい改善してきたんだそうです。

この「徳」ってのはなんか抽象的だけど

それはやはり今のアジアの中国とか韓国なんかに実は結構

残ってるんです。

私なんかは英語では合理主義は学べるけど「徳」ってのは

学べないので、だからこそ最近韓国語もそうだけど

中国語も学ばないとなってるって思ったりします。

ちなみに竹田氏が説く徳ってのは感謝の心だ、ということです。

彼はお菓子屋さんをやってるわけですから

毎回 ありがとう、ありがとう、という気持ちで食べ物を

作るんだそうです。

逆に「ばかやろー」とか思って作る食べ物なんて

おいしくない、ってことでして

やはり「徳」を「貯蓄」する「貯徳」って考え方は大事だと。

それでやはりお金ってペラペラの紙なわけでした

最近は単なる数字です。

それを竹田氏は皮肉っていて、

「多くの人は金融だけで富が生まれるって勘違いしてるけど

現実にはあんなもの何も世の中に価値を生んでない。

バーチャルゲームのような世界で富が生まれてると

みんな勘違いしてるだけ。

お金は道具、手段であって、目的じゃないよな」

こういうことを言っているわけです。

私もお金はあくまで手段、ツールだ、ということをよく書くのですが

この考え方って大事だと思うんですね。

それで私がこの竹田さんの立派なところだと思うのですが

以前に定額給付金ってのがありましたが

この竹田さん、その紙をビリッと破り捨てたと。

家族の前で。

それで

「国家に頼るのはおかしい。民衆でやれることは民衆でやるべきである。

国家がなんかやってくれるとって おいしそうだ、と思っていけば

必ず何か畏があるもんだ。

だからあんな定額給付金なんぞいらん。景気にはオレはもっと貢献してるでな。

「真心あるものを民衆に与えないと」

ってというのが彼の主張なのですが

まさに流れている思想は以前に書いた

リバータリアンなんですね。

それでこの竹田氏ですが資産数百億円の金持ちであるわけですが

彼はあくまで お金は幻のようなもんだ、というわけです。

お金だけで実現できないこともあるで、

と彼は言います。

=====

以上です！

この貯徳の考え方をもう少し詳しく書いてるのが

この PDF です。

**PDF【大投資家の竹田和平氏から学ぶ
「貯徳(ちよとく)」の精神について！！】**

<http://fxgod.net/pdf/money/tyotoku.pdf>

それで私はここ最近なんですが日本で結構すごい経営者さんに
会う機会に恵まれたんですね。

この方は年商100億がもうそろそろ見えてきてる方で
業界はインフォとはまったく別の
日本の主要産業の業界の人なんですが
結構よく会って話すわけです。

それで実は彼も同じような「貯徳」概念を言うんですね。
別に竹田和平を読んでもとかそういうわけではないのだろうけど
そこに商売の本質がある、って彼なんかは
商売を通してわかってるんですね。

ちなみに彼は商売だけじゃなくてFXなんかもうまいんですね。
全てに通じてるものがある、ってことです。

それで上記貯徳概念のさらに追記なんだけど
「じゃあお金とは何なのか」という話でして

これはお金の特徴として、

理念とアイデアがある場所に

お金が集中する、ってのがああるんですよ。

お金の特徴としてとにかく儲かる場所、儲かる場所に
サラサラと水のように流れる性質ってのがああるんですね。

それで基本的にお金はああるところに正常な資本主義世界で
流れていくか??

ってああるとこれは実は

「理念とアイデアがある場所」、ここにああるお金の流れる性質がああるんだ
ってことああるんですね。

ちなみに私はマレーシアなんかもこれからあある機会がああるけれど
あある例えばこの前はジョホールバルにああるいました。

ジョホールバルは実はあある何度かあある邪魔してああるんだけど
ああるこれシンガポールの国境沿いにああるマレーシアの街ああるんですね。

クアラルンプールに次ぐ第2の首都ああるです。

このジョホールバルで結構時間つぶしてああるただああるけど
ああるこれが面白いああるんですね。

ジョホールバルからシンガポールまでは車でそのまま行けるのですが

シンガポールなんかはもう日本の東京より発展してる感じで

行ったことある人は分かると思いますがまあすごい感じで

発展しておりますよね。

それでシンガポールから

橋を渡ってパスポート渡して車でマレーシアのジョホールバルに

行けるのだけど

ジョホールバルになるとちょっと街が若干東南アジアな感じが

出てくるというか、そういう感じで橋をまたぐと全然違う雰囲気になる

んですね。

それでこのジョホールバルで有名なのが

イスガンダルプロジェクトというやつで

2006年にスタートした、

マレーシア南端部のジョホール州を大開発する巨大プロジェクトとして

2025年までに2217平方キロメートル

(東京都とほぼ同じ面積、シンガポールの約3倍)の

ジョホール州を約10兆円かけて開発して

2005年時点で130万人だった人口を2025年には

300万人にまで増やそうとする壮大な計画ですね。

超ざっくり言うと、シンガポールをもう3個つくってしまおう！

という計画なんだけど

これは不動産系の方はご存知のように数年前にこの

ジョホールバル投資ってのがすごい流行ったんですね。

だから世界中の投資家ってのがこの理念に資金を投じまくっておまして

確かにどんどんとコンドミニアムが建設されていました。

といっても昔からジョホール投資してる私の友人は

あまり値上がりしない、値下がりもしてない、ということで

若干投資としては微妙だ、ということをおっしゃってまして

不動産投資に関してはいろいろな意見はあるのですが

ただとりあえず上で竹田さんが提唱していた

「理念とアイデアがある場所」、

ここにお金が出る性質があるってのは事実確認できました。

イスガンダルプロジェクトってマレーシア国家の「理念」に

世界中のお金が集まるっていうのは

自分の目で確認することが出来たのでやはりひとつの真実でしょう。

それでお金とは何？っていう話なんだけど

基本的にお金ってのはお客さん満足させてそれでいただけるものだ

というのが竹田さんの言うことでありまして

そうなるとお金ってのはいわゆる「ありがとう」という気持ちが

形になったものですね。

だからこれ重要でお金を稼ぐのが悪いことっていうのを

私たちは刷り込まれるけど

そもそもの話、お金はありがとうの対価であるというのだから

お金稼ぎは肯定していいし、

どんどん儲けましょうという考え方がありまして

逆を言うと

お金を稼いでいない＝価値を社会で生産していない

~~~~~  
という意味でもあるから  
~~~~~

やはりそこも考える必要があるってことですね。

それでこれから遅かれ早かれ日本でもようやく資本主義ってのが
花咲く時代ってのが東京オリンピック後に日本が荒廃して
戦争がなければ

2025年から2030年くらいでしょうか、

やってくると
思います。

今の日本の資本主義と「みんなが勘違いしてるもの」はこれは
大思想家の小室直樹からするといわゆる「前期資本主義」であって

例えば政治と癒着したゼネコン、自動車会社などが利益計上してるけど
これはこれで 公的部門が私的企業管理してるから資本主義とはいえず
前期資本主義と言います。

これがいずれ後期資本主義というか、本来の資本主義が
いずれ日本でも「初めて」導入

されざるを得ない

というのが私の将来の見立てでして、これは同じく

ドナルドトランプ大統領の立役者であるヘンリーキッシンジャー博士の
考え方と一致してるとも思いますが

これからその資本主義の根本ってところを
考えるのが大事になる時代になります。

ちなみに最近芸能人が癌との闘病生活を描いて
それで抗がん剤治療キャンペーンを行っていたりするけど

あれはやはりマーケティングとしては前期資本主義なんだろうとも
思います。

「プロパガンダ」から脱却して一人ひとりが購買活動する社会
これが本来の資本主義の発展にはとても大事な考え方となるでしょう。

ちなみに私は普段からお金の使い方も気をつけていて
やはりお金は稼いだのだったら「有効に」使わないといけないというの
ありますから、

例えば私が普段使うのは「この店はつぶしたくない、利益出させたい」
と思ったところにお金を使ったりします。

私の家の近くにすごい安くてそして港であげられた美味しいお寿司を
出すお店があって、

(味としては銀座の久〇衛より私はおいしいと思います。やはり新鮮だから)

領収書なんかもちゃんと名前を覚えてくれてて

私の名前を言わないでもかいてくれるお店ってのがあるんだけど

このお店で色々友人と投資とビジネスの話したりもするんだけど

やはりこういうつぶれてほしくない店、

ちゃんと営業利益を出してほしい店

ってのが私にはあって、そういうところにお金を落とすというのは

私は結構意識してるんですね。

それで「株式会社」のシステムについて考える必要があるのだけど

基本的にはまず

ある事業、アイデア、理念を持つ人がいて

そしてその人が発起人となって、その事業のアイデアや理念に

賛同した人たちから資本を預かって、それで事業を行うのが

その仕組みの基礎ですよ。

このとき、お金というのはどうやって流れるのか？？

というとやはり投資家はその発起人のアイデアや理念に共感して

それが社会の中で価値を生み出すだろう、そして結果的に

儲けになるだろうね、という考え方で

それでお金を出すわけですよ。

それで重要なのは最初に 理念とかアイデアとか思想がある
ってことです。

ただこれを実現するにはどうすんの？？

っていうと必ず「お金」が必要なんですよ。社会の現実として。

だから実際の話、理念とかアイデアや思想ってのがあるところに

お金ってのは吸い寄せられる性質があって

そこでその理念とかアイデアとか思想を基礎として、

利益が計上されて、結果として儲かるんですよ

ってことです。

実はこの「結果として」儲かるってのが私が以前書いた

年商100億にいきそうな社長さんが言ってたことでもあります。

要するにみんな「お金がほしい」と言いますけど

そりゃーみんなほしいですよ、お金。

が、そういう人ってのは即金 そっきん、とかを求めるんだけど

果たしてお金の流れ的に

理念もアイデアも思想も何もないそいつに

お金が流れていくか??

って話なんです。

おそらく、今までの時代だったら流れることもあったんだけど

もうこれからの時代はそうじゃなくなってくる

っていうのが竹田さんの見立てでして、

私もそうだと思ってます。

というのは今の時代、

ソーシャルレンディングとかソーシャルファンディングとか

個人が資金調達できる時代に日本以外はなってきたるんですね。
(2018年追記:そこにICOという個人が資金調達できる
強力なマーケットが出来上がった)

日本は官僚というクズのような組織が

未だ絶大な権力を振るってるから

このソーシャルファンディング・ICOとかでも

法律で締め上げてこようとしてるから民衆も世界のこの流れに

乗れていないけど

いずれ日本でも官僚機構が倒されてこの流れに乗る時代がやってくる。

それで株式会社が資金調達する時代から

個人や中小事業体が資金調達する時代に

必ず入ってきまして、

私なんかはその時代を睨んでいてやはり投資家として

その時期に貢献できる人間になりたいなってのはまずあるのだけど

そうなるなら「どういう人にお金が集まるか？」ていうと

もう世界の潮流みると

理念 アイデア 思想 これらが研ぎ澄まされた個人に

お金が集まりだしているってのがこの数年の流れです。

おそらくソーシャルレンディングサービスとかで

個人間で金融ファイナンスが簡単に出来る時代になってきたら

その流れがもっと顕著になります。

逆に、思想も理念もアイデアもありません、

ただただカネだけほしいです

こういう人には長期でお金って集まらなくなるんですね。

逆に人を幸せにしたい、とか、あとはもっとお客さんを楽しませたいな

みたいなそういう個人や会社の発起人、にこれからお金が

集中していく時代が変わっていくということですね、世界的に。

それが竹田さんの貯徳を学んで私が分かることです。

だからお金を稼ぐためには理念やアイデアを持つこと

思想を強固にすること、ってのが大事でありまして、

それが重要なんです。

それで別にこれは自分で事業を興してくださいねとかそういう意味ではないのですが

ただ重要なのが事業の業の字がありますよね。

この「業」の字は何か、といいますと

木が生い茂って繁栄しているように見えますよね？

ということは「事業」というのは

事を繁栄させることが事業です。

だからあなたがいましているビジネスとか投資でもいいんだけど

その一番得意な分野を繁栄させればこれは事業なんです。

だから竹田さんが言ってるけど

いきなり大もうけにはならないけど、(あえてしないけど)

そのうちお金のほうから

「あなたが使ってください」と寄ってくると。

これ、実はこの前話したそのすごい経営者さんも言っていました。

だから多くの志持つ人が希望を持って、そして実現目標を立てて
それで同じ方向に進める様なそういう理念、

これがやはり必要でして

これを持って人は必然的にお金を稼がざるを得ないですから
必要だから勝手にお金は結果としてやってくるわけですね。

これはお金の流れとして

これからの資本主義の性質に合致してるので
実際の真実であろうと思います。

だから「なんでその人は継続が出来るのか？」

「なんでその人はコツコツやり続けて実力を蓄えて
資産を増やすのか」

「なんでその人は学習意欲がやたら旺盛なのか」

そういう疑問を成功者見てると私はいつも思うのだけど

これはやはり「理念」部分がしっかりしてるんですね。

思想がしっかりある。

ちなみに竹田和平さんはやはり日本の政治についても

かなり意見をもっていらして

そこで彼が言うのが

「新しい時代は官(役人)ではなく民衆が作る」

というものです。

だから政治の話も彼はしっかりするのだけど

今までのあり方として大体は帝国というのがありまして

それが前期資本主義のマネーゲームとかやりすぎて

大体はジャブジャブマネーやりすぎるんだけど

それで失業者が溢れかえってみんな食えなくなるんです。

これから15年くらいの日本がそうなると思う。

それでじゃあ為政者はそこで何をしたいか？というと

戦争したいわけです。

戦争して「帳簿をパーにする」ということです、

戦争の本質は「ご破算願います～」の世界であって

そこで積みあがった莫大な何京円という借金をチャラにする

というところに本質があります。

それで歴史を見れば日本でもそうだったように
やはり官ってのが暴走するものです。

今度政府や官僚なんかがしようとしてるけど
私なんかは彼の言うことというよりも

言動よりも実際の行動である
政策や憲法草案しか見ていないのだけど

まず私たちの憲法には

「第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官
その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。」

というのがあって「公務員たちは憲法を守りなさい！！」ってのがある。

これ近代デモクラシーの考え方の基礎であって

歴史の教訓として行政は暴走しますからね、

だから「おい、行政は憲法を守れよ、

分かったか??おら？」っていうのがはっきり言ってしまえば

近代デモクラシー憲法です。これ立憲主義といいます。

だから実は日本は少しおかしくて国民の3大義務という

行政が民衆に課す義務がまだ存続してるけども

アメリカなんかでは国民の義務なんてのは憲法で

明記されていないわけです。

だから本来の近代デモクラシー思想において

国民の3大義務は無効であります。

が、独裁国家とか民衆が抑圧される国家社会主義体制ならば

それは有効です。

それで今官僚たちが作りたがってる憲法で重要なのが99条なんだけど

この99条部分の

「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官

その他の公務員」

この「天皇」のところをはずそうしてるんですね。

分かりますかね、要するに戦前もそうだったけど言い方悪いけど

天皇を「フロント」として官僚たちが独裁していったけども

結局フロント立ててそれで独裁していくという体制を

また作りたがってる。

ただこれは歴史の流れからいったら為政者の必然でありまして
やはり不況がどんどん進んでいったら最後は
「最悪の公共事業」である戦争に向かっていくと言うのは
これ自然なことです。

だから歴史としては民衆が不況にさらされて不満が高まれば
対外恐怖をあおってそれで戦争に引き釣りこむというのが
役人の習性としてあるわけです。

だからもし民間経済が不況になったら戦争に引き釣りこむか
もしくは官の支配をさらに強化して自由市場制限をかけるか
ということになるのだけど

これ日本のバフェットこと竹田氏も「間違った選択だ」
としっかり言ってるのが重要なんですね。

彼ははっきりと日本人が戦後豊かになったのは
「自由市場を導入したからだ」と言うのだけど

だからテレビ局や新聞のように

「官僚が優秀だったから日本は発展した？」

(はあ??っていう)

と言うのをしっかり否定してるわけですね。

官、役人は審判くらいしかできなくて、

日本では経済のプレイヤーをやってしまってるけど

それは異様である、ということも言っています。

要するに税金で食べてる人たちってのはお金を稼がなくても

存在できますから、

自分を変えて成長させる、という発想がないんです。

これでは新しい時代を作れないというのが氏の主張であって

それは真実でもあるけど

だからこそ「新しい時代は官ではなく民衆がひっぱっていくもの」

であって

逆を言えば官は大人しくしていなさい、であります。

けどこれがリーダーの考え方であるというのが竹田氏が言うことで
私は本当に同意するのだけど

そこでそのリーダーというのが理念や思想や哲学、アイデアを
持って行って社会を引っ張っていくというのが

これからの日本に大事である、ってことなんですね。

そういう理念というのがあって「投資家」という職業が
社会の中で「必要」になってくるわけです。

だからこれからの社会というのはこの考え方を理解して
体現して理念を持てる人にお金が集まってくるし

そういう人たちが沢山育って行って社会を引っ張る必要性が
出てくるということですね。

だからこれからの時代はやはり徳を貯蓄する貯徳の考え方を
持つてる人たちにお金が集まっていくわけですね。

それでよく「即金」情報というのがあります。

私は実はこれを全否定はしないのだけど

例えば「カネほしーよ、ウヘウヘ」って言う人がそれをやれば
当然稼げません。

世の中甘くないから。カネ稼ぐってのは地球上の人が
一生の時間という資源のほとんどを費やしてる行為であって
そんなに甘くないんです。

一方ここで理念とか思想とかアイデアを持った人がこの
即金の情報で実行したらどうなるか??

というとおそらく彼にはその理念実現にお金が必要であるから
やっぱり稼ぐんですね。

だから成功者がよく言う「ノウハウや手法も大事だけど
それ以上に大事なことがあるよ」っていうのは

これ竹田さんが貯徳で言ってることでもあってつながってるんです。

だから多くの方は表面的なノウハウとかばかりに気をとられるけど
それは知性が劣化している証拠であって

実際の話は自分が楽しめて継続できるものであるならば

そこでその人なりの理念や哲学が構築されていれば

そのまま勝手に前に進むから、結局数年経つとその人に
お金が集まってくるようになるんですね。

だから今までの時代てのはいわゆる「合理主義」っていうけど
それを以前説明しましたが それはユダヤ思想ですね、

これをやれば稼げた時代なんだけど
これからはそれが少し複雑に変化していくということです。

ここに合理主義も必要なんだけどそこに付加して
理念とか思想とか、アイデアとか、それをミックスしていった
人ですね、それを反映させて繁栄に結び付けられる人、

これを社会投資家とか社会起業家とか言うけど
そういう人たちに資金が集中する経済構造に徐々に転換していく
ってことでもあります。

今の時代は割合としては合理主義のほうが圧倒的割合の企業とかでも
まだ利益出せてしまう状況なんだけど

いずれその割合が高すぎる場合、長期利益確保が困難になってくるだろう
ということにして

これ、実は私とその年商100億が見えてきてる経営者さんと

話して認識したことなんだけど

おそらく近いうちに日本経済が粉飾していたのが完全にはがれて

その日本経済の弱さが本当に

露呈する時代になってくると思うのですが

その後この傾向が強まるでしょう。

そのときに生き残るのが

理念や思想やアイデアを持ってる法人や個人なわけです。

ということでこの貯徳概念ってのはまさにこれからの時代で

非常に重要になってくることでして、

もう今すでに兆候は見えていて、合理主義一辺倒の

企業でブラック会社批判が高まっているけど

やはり社会全体の変化があって経済構造にも変化が訪れると。

だからいよいよ人類は前期資本主義時代から

本来の徳ある資本主義を追求しなければいけない時代に

史上初、入っていくということです。

(この表現が分からない人は小室直樹の資本主義原論を

読んでみてください。)

だからそこでは当然のごとく今のような大企業ばかり優遇されて
大企業独占という支配構造は崩されていかないといけないし

そこで重要なのが中小事業者の個人たちです。

簡単にいうと中間層の復活ということですね。

ただその中間層も、サラリーマンというよりは自営業という
自立した存在であるというのが重要です。

私はそれを新自営業とよく言います。

この新しい新自営業層が重要で、彼らが社会に価値を作り出していき
投資家がそこにファイナンスする、という構図です。

それですばり言うとヘンリーキッシンジャーがトランプ大統領を
誕生させた背景にいるのだけど

このヘンリーキッシンジャーの経済思想がまさにそれなんですね。

だから世界は思想単位で動いておりまして、
その思想のトレンドというのがあるんだけど

これを理解して

理念とか思想とかアイデアを構築した個人が

必要なその資源である金を得る、という構図になっていくわけです。

だからこれからの時代は大変とはいえ、

理念とか思想とかしっかり持って前に進める個人にとっては

実は結構面白い時代になる可能性を秘めてるってことです。

それで上

これがアメリカで今投資家たちに教えられている内容でありまして

それが例えば 今のアメリカの

UBER とかのタクシーサービスを生み出してるんだ

ってことです。

日本人はグーグルで検索して IPHONE 使って、アマゾンで注文して

ヤフーメール使って、ツイッターを使って、FACEBOOK でいいね

をしてるけど全部米国企業です。

要するに思想部分で負けてしまってるという問題点がありまして

ここで理念、アイデアを持った人たちが資本主義ルールで

活躍する米国にやはり経済部分で日本は追いつけていない、

対抗できていない、

と言う問題もあるのだけど

ここで上の貯徳の考え方を知った人たちが大勢

前に進んでいけば、日本社会はもっと面白くなるポテンシャルがあるだろうな
とは私は思いますよね。

そのためにはまず 公的部門(行政官庁)が私的企業を

支配する構図が政治的に改められるというのが一番なんだけど

ましてやその頑張ってる企業社長や個人たちを税務調査でいじめたり
東京地検や警察に逮捕させたりなんてもってのほかですよ。

日本のカントリーリスクはまさにその官僚機構支配であるから

それが仮に政治変動で取り去られる時代がいつか来るから

そのとき、日本市場は面白くなると私は将来を洞察しております。

ということで貯徳の考え方を知るとこれからの時代の指針が

見えますから、

上に書いたことも是非読み直して理解していただければと

私は思ってます。

それではまた！！

ゆう